

やさいニュース 39 週

今回は、青果栽培基準についてお知らせします。

この青果栽培基準は生活クラブ関西 6 生協で企画する青果類全ての品目が対象となります。

## 青果栽培基準について

2019 年、生活クラブ関西 6 生協で設置した「青果政策検討会議」にて答申された「生活クラブ関西青果栽培基準」の運用が 2021 年度より始まっています。

生活クラブ関西 6 生協で企画する青果類については、すべての品目を以下の栽培基準で運用する事を決めました。

- ①化学合成農薬を使用しない栽培への転換を目指し、化学合成農薬は 1 成分でも少なくできるように、削減を進めます。
- ②化学肥料を使用しない栽培への転換を目指し、有機肥料への転換を進めます。
- ③環境ホルモンの疑いのある農薬を禁止します。(一部移行期間中のものがあります。)
- ④土壌消毒剤・除草剤の制限、不使用を進めます。
- ⑤水耕栽培の作物は取り扱いません。
- ⑥加温栽培を制限します。

なお、栽培に関連する表示等については、農林水産省「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に準じた表記を行います。

- ・「化学合成農薬」は有機農産物の JAS 規格で使用可能なものは除くものとしています。
- ・「化学肥料」は窒素成分のみを対象としています。
- ・「環境ホルモンの疑いのある農薬」については生活クラブ自主基準で定めた物質リスト(35 成分)を対象とし、展着剤も含めたものを対象としています。

## やさい BOX について

### ●やさい BOX の栽培基準

左記に示した「生活クラブ関西青果栽培基準」のもと、やさい BOX の栽培基準は、これまでと同じ「栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料不使用」で変更はありません。

### ●化学合成農薬、化学肥料を 1 剤でも減らしていく運動を推進し、これに賛同する生産者の参加を広げます。

やさい BOX で実現できている「旬を大切にすることで作物が持っている本来の力を最大限に活かした、農薬や化学肥料に頼らない農法」を他の青果物や生産者にも広げていきます。

### ●化学合成農薬や化学肥料を使用しない栽培を基本に、急激な天候変動や虫害、病気等についてどの様に対応していくか、生産者と話し合いを継続します。

やさい BOX 生産者とは、これまでと同じく「化学合成農薬、化学肥料を使用しない栽培方法の継続」を基本とする事を確認しています。その一方で、虫害や病気、急激な気候変動による作物への被害(出荷量減)への対応については、「どうしても使用しなければならない場合は、有機 JAS で認められているものにする」など、「生活クラブ関西青果栽培基準」に沿ってどの様に運用するかを生産者と話し合っています。

※ご不明な点があれば、配送事業所へお問い合わせください。